

平成19年度第5回法務委員会(議事録抄)

日 時 平成19年11月13日(火) 1300～1700

場 所 操縦士協会事務局

出席者 熊坂、大久保理事、長谷川、友田各委員

1. 706 裁判、907 裁判のその後について

引き続き高本機長の出した事故調への質問状の反応を Follow するとともに、907 裁判の控訴審については結審の時期に傍聴を計画して情報収集に当る。

2. 事故に遭遇したらの小冊子作成関連について

緊急連絡網の作成に関しては

- ・ 原案を安全委員会に投げかけ、対応を検討する。
- ・ 基本的に GA 会員対応は土日祝祭日が対応できなければ緊急とはいえない。
- ・ JAPA 事務局で携帯電話やボイスワープサービスなどを利用した連絡体制が取れないか検討してもらう。(現状は留守電のみ)
- ・ 今までどおり松岡弁護士からの弁護士紹介を含め、Pilot 手帳に記載された方式により側面的支援を継続していかざるをえない。
- ・ 保険関係については委員会としては、関与しない。

3. 安全な社会の実現を目指して

神奈川大学堀野助教授に関しては、機会がなく話が進んでいない。

- ・ 道交法改正で刑事訴追のありかたがどのように変わっていくか？
- ・ 現行法は国際的に見て、罰則の適応等が適切なのか？など池内氏に質問内容の確認をしてもらう。(ドラフト作成も池内氏に依頼)

4. 航空・鉄道安全推進委員会への参加について

- ・ JAPA としては賛助会員として登録しているので、実際にどのような活動が出来るのか委員会にメールで確認後、具体的活動を考えて行く。

5. 今期 43 期法務委員会の運営の仕方について

- ・ 委員会開催日については11月以降第二火曜日(従来どおり)に戻す方向で検討、安全委員会からの協力依頼や講演とうがあれば、弾力的に対応する。
- ・ 安全委員会「事故対応委員会」については、依頼があれば積極的に協力する
- ・ 「各国の刑事処分のあり方」については航空分野についてオステン先生に協力してい

ただければ、各方面に対しても法務委員会としてアピールできるので池内委員に引き続き対応していただく。

- ・ 航空・鉄道安全推進委員会に賛助会員として法人登録した。

6. その他

- ・ ISASI 総会報告の中に各国刑事処分のあり方について記載があったので、参考にしてみては→当該記事を次回検討。
- ・ 国会議員の顧問を提案してみてはどうか→各方面を検討し次回討議
- ・ 事故調査委員会訪問計画→具体的日時は安全推進委員会訪問後検討

7. 次回開催日程

12月11日(火)を予定 当日は1730から忘年会を予定していますので皆さん参加してください。